

14項目名の修飾(32)

項目名の修飾(32)

ジョインとの関わりでより重要なことは、この例の中に現れている、「部門.部門名」とか、「従業員.氏名」といった項目名の指定の仕方である。

一般には、「テーブル名.項目名」といった形式で用いられ、その項目が、どのテーブル中の項目であるかを指定する。例えば、「部門.部門名」とは、テーブル「部門」中の項目「部門名」という意味であり、「従業員.氏名」というのは、テーブル「従業員」中の項目「氏名」という意味である。こうした項目名の指定の仕方を、「項目名の修飾」と呼ぶ。今までこの「項目名の修飾」という形式が現れてこなかったのは、selectで用いられるテーブルが、一つしかなかったからに他ならない。実は、先の例では、「部門.部門名」や「従業員.氏名」といった項目名の修飾は、冗長である。というのも、二つのテーブルの中で、「部門名」「氏名」といった項目名は、一方のテーブルにしか現れないからである。一方、「従業員.部門番号 = 部門.部門番号」の部分での項目名の修飾は必須である。なぜなら、二つのテーブルのいずれにも、「部門番号」という項目が含まれているからである。

例 32: 冗長性を排した検索（ジョイン）

```
select 部門名,氏名,住所
from 部門,従業員
where 住所 like '%横浜市%'
and 従業員.部門番号 = 部門.部門番号
```

部門名	氏名	住所
土浦工場生産部門ライン2	坂上次郎	横浜市
つくば工場生産部門ライン1	三木和正	横浜市
下妻工場生産部門ライン 1	桜谷由香里	横浜市

通常、ジョインは、二つのテーブルを、両方に共通に含まれる項目の所で、その項目の値が等しくなるように行を選んで張り合わせたものであるから、項目名の修飾は必要である。

二つのテーブルを結び付ける、「従業員.部門番号 = 部門.部門番号」という形に注目して欲しい。